伊勢物語 ●梓弓●

あらすじ 次の空欄に適語を入れて、内容を整理しなさい。

昔、男が〔①　　〕に住んでいた。男は、都で〔②　　〕をしに行くと言って、女と別れを惜しんで出かけたまま、〔③　　〕年帰ってこなかった。そのため、待ちくたびれた女は、たいそう親切にして求婚してきた人と、今夜〔④　　〕しようと約束を交わした。そこへ、この昔の男が帰って来て戸をたたいたが、女は開けないで、今夜結婚することを告げる歌を詠んで男に差し出した。すると男は、〔⑤　　〕を愛して、むつまじく暮らしてくださいと、女を思いやる歌を詠んで、立ち去ろうとした。そこで女は、男との深い愛を思い起こした歌を返すが、男は帰っていった。女は、ひどく悲しく思い、男の後を追って行ったが、追いつくことができず、〔⑥　　〕が湧いている所まで行って、そこに倒れ伏してしまった。女はそこにあった岩に、〔⑦　　〕で切ない思いを詠んだ歌を書き付けた。そして、その場で死んでしまった。

重要語句 次の語句の本文中での意味を答えなさい。

(1) 惜しむ
(2) わぶ
(3) 契る
(4) うるはしみす
(5) 往ぬ
(6) いたづらなり

重要文法 次の各部分から、①係り結びを起こしている係助詞と、②その結びの語をそれぞれ抜き出しなさい。

(1) 歌をなむ詠みて出だしたりける。（六九・5）
　①　　②

(2) ただ今宵こそ新枕すれ（六九・6）
　①　　②

(3) 我が身は今ぞ消え果てぬめる（六九・14）
　①　　②

内容理解 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 次の文は、「男」（六九・2）についてまとめたものである。空欄にあてはまる本文中の語句を補って文を完成させなさい。

A に住んでいたが、B をするためと言って出て行ったまま C も帰って来なかった。

2 「この男」（六九・4）とは、誰のことか答えなさい。

3 「あらたまの」の歌（六九・6）について、

(1) 次の文は、この歌を詠んだ女の気持ちを説明したものである。空欄にあてはまる語句を補って文を完成させなさい。

新しい男と A する日に B が帰ってくるという運命のいたずらに C する気持ち。

(2) 「今宵こそ新枕すれ」とあるが、誰と誰とが結婚することを表しているのか答えなさい。

4 「梓弓ま弓槻弓」の歌（六九・8）にはどのような気持ちが込められているか。適当なものを次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア 新しい夫のもとを離れ、戻ってきてくれ、という気持ち。
イ 新しい夫を愛し、むつまじく暮らしてください、という気持ち。
ウ かつてのように、自分と暮らしてほしい、という気持ち。
エ 年を経ても、あなたへの愛は変わらない、という気持ち。

5 「梓弓引けど引かねど」の歌（六九・10）について、

(1) 「心は君によりにしものを」とあるが、「心」とは、誰の、どのような心か答えなさい。

(2) 次の文は、この歌を詠んだ女の気持ちを説明したものである。空欄にあてはまる語句を補って文を完成させなさい。

以前と A 自分の思いを、かつての B に C ほしいという気持ち。

6 「あひ思はで」の歌（六九・14）について、

(1) この歌を詠んだ女の気持ちとして適当なものを、次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア 夫に冷酷な仕打ちをされたことを嘆く気持ち。
イ 夫の真情を知って自らの行動を恥じ入る気持ち。
ウ 夫の心が離れたことが悔しくて激怒する気持ち。
エ 夫の心を留めることができずに絶望する気持ち。

(2) この歌を詠んだ後、女はどうなったか。女の気持ちを踏まえて答えなさい。